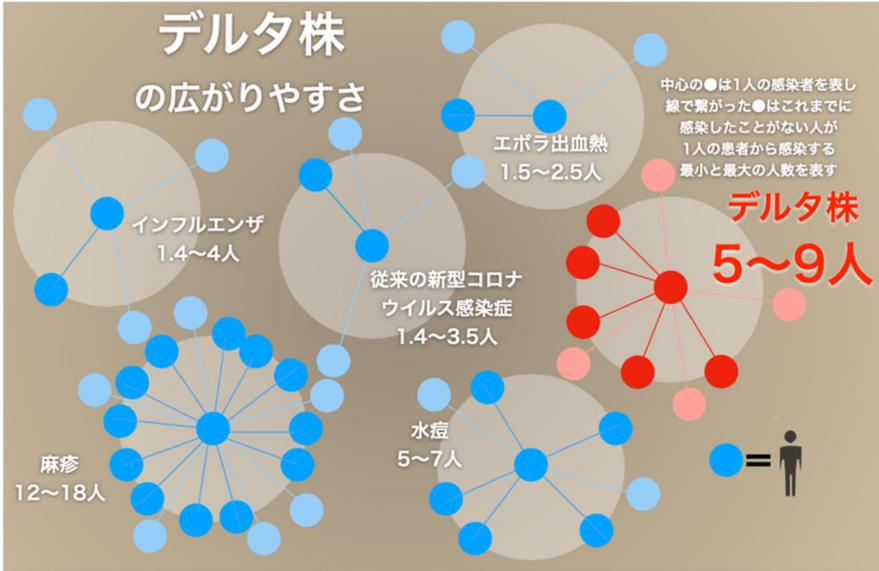


デルタ株 拡大に伴い医療従事者の感染が増えています！



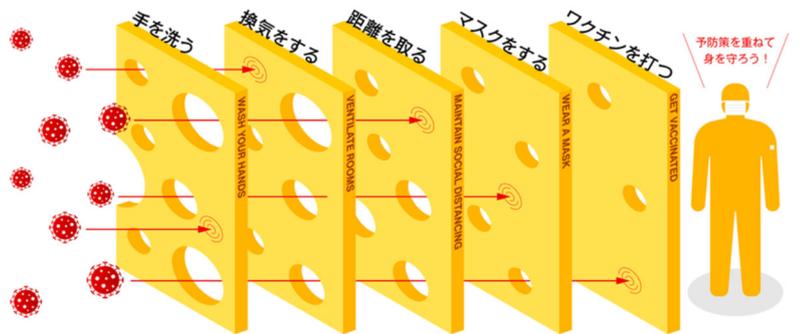
現在、新型コロナ新規感染者数が急増していますが、その要因の一つとしてデルタ株の拡大が挙げられます。第4波以降、従来の新型コロナウイルスよりも感染力の強いアルファ株と呼ばれるイギリスから広がった変異ウイルスが主流になっていましたが、現在はアルファ株よりもさらに感染力が強いデルタ株と呼ばれるインドから広がった変異ウイルスが主流になりつつあります。日本全国で急速にアルファ型からデルタ型への置き換わりが進んでおり、大阪府内もすでに6割以上がデルタ株に置き換わっています。これまでデルタ株がすでに広がっている国や地域に他の変異株が拡大した事例はなく、

現時点ではデルタ株が最も感染力が強い変異ウイルスと考えられます。

CDCによると、従来の新型コロナウイルスは1人の感染者から平均1.4~3.5人くらいに感染していましたが、デルタ株は1人の感染者から平均5~9人に感染すると算出しています。これは、MERSやSARSといった同じコロナウイルス感染症、季節性インフルエンザ、エボラ出血熱などよりも感染力が強く、空気感染する水痘（水ぼうそう）と同等と考えられます。

デルタ株が拡大している現在、ワクチン接種を完了した人も、これまで以上に感染対策を徹底する必要があります。手指衛生、マスク、3密を避けるといったこれまで通りの対策を、これまで以上に徹底するようにお願い致します。

Swiss cheese model 新型コロナウイルス予防策



Supervision: Yoshiko Hayashi, MD, PhD/Kameda Medical Center, Illustration: Takashi Tokumori/bowlingraphics inc.

Creative commons: Attribution-NonCommercial-NoDerivatives 4.0 International CC BY-NC-ND 4.0

くつ王に聞いてみよう その2



Q. ワクチン打ったからもうマスク外しても大丈夫？

A. あきまへんやで！

デルタ株の拡大以降、ワクチン接種を完了しているにもかかわらず新型コロナウイルスに感染した医療従事者の事例が国内外で増えています。ワクチン接種による重症化予防効果は保たれていますが、感染を予防する効果は大きく落ちておりワクチン接種者も感染することが十分ありえます。また、ワクチン接種者が発症した場合もデルタ株ではウイルス排出量が多く周囲への感染力が強いことが分かっています。

このような状況から、ワクチン接種をしたからと言って、残念ながらこれまでの感染対策を緩めることはできません。引き続き感染対策の徹底をお願い致します。

